

## 『北斎と広重 風景画の二大巨匠』



葛飾北斎  
「富嶽三十六景 山下白雨」

大判錦絵揃物の内  
個人蔵  
展示期間 10月3日(火)～15日(日)

平成13年に開館した中山道広重美術館は、9月21日に開館5周年を迎えました。当館では、これを記念する特別企画展として「北斎と広重 風景画の二大巨匠」展を開催しています。

周知のとおり、葛飾北斎と歌川広重は、浮世絵を代表する巨匠であり、また彼らの描いた作品によって、浮世絵版画に『風景画(名所絵)』というジャンルが確立したこともよく知られた事実です。しかしながらその個性は大きく違い、それぞれの絵師、とりわけ広重は個性の違いを意識して作品制作を行っていたことが、現存資料から判明します。

葛飾北斎の浮世絵版画における代表作といえば富嶽三十六景、上の図版はそのシリーズの一枚「山下白雨」。天候が変わりやすい夏の一瞬の状況をとらえた名品中の名品です。今回は、同じく名品の「凱風快晴」と合わせ、個人蔵の作品を所蔵者のご厚意により、期間限定(10月3日(火)～15日(日))でご覧いただけます。

これに対し歌川広重の代表作といえば、東海道五拾三次之内(保永堂版)、それと並ぶ木曾海道六拾九次之内などが思い浮かびます。本展覧会では、両作品も3期に分けて展示しており、今期は木曾海道六拾九次之内(当館蔵 田中コレクション)の「中津川(雨)」、「大井」も登場します。

会期: 9月5日(火)～12月3日(日)

第2期: 10月3日(火)～11月5日(日)

毎週月曜日休館(10月9日(月)は開館)

次号は10月15日号

発行日は10月13日(金)です

広報えな No.45

2006年(平成18年)10月1日発行

発行 恵那市役所

編集 まちづくり推進課広報広聴係

岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

**編集後記**

シラタマホシクサの写真を撮るうと、トコトコぼんちゃんのアアについて行きました。ツアアの途中では、ボンちゃんを見つけた人が寄ってきて、シラタマホシクサの場所を聞いていました。カメラを持った人のほか、聞いてみると、近くに住んでいるが、知らなかったという人もありました。

お目当てのシラタマホシクサの場所では、既に数人の見物人が来ていて、盛んにカメラのシャッターを切っていました。かわいらしい白いふわふわした玉状の花が、辺り一面に咲き、やさしく風に揺れていました。まだまだ身近なところに自分の気付かないものがあります。自分の周りを見詰め直す大切さを改めて感じました。